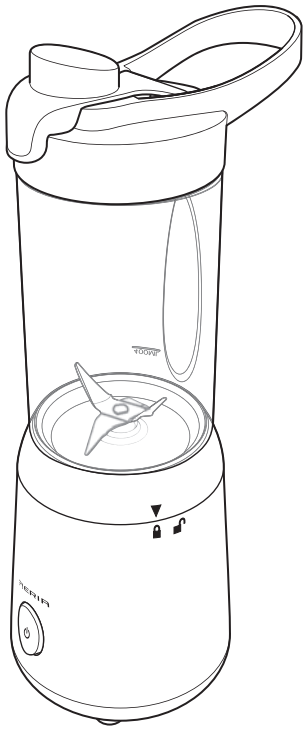
# タンブラーミキサー　TMS-19A／SMT-19B

# 取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

もくじ


安全上のご注意……P. 2～3
各部の名称とはたらき……P. 4
正しい使いかた……P. 5～7
調理例……P. 8
お手入れと保存……P. 9～10
修理・サービスを依頼する前に……P. 11
アフターサービスについて……裏表紙
保証書……裏表紙


## 仕　様

| | |
|---|---|
| 品　名 | タンブラーミキサー |
| 型　名 | TMS-19A ／ SMT-19B |
| 電　源 | AC100V　50/60Hz |
| 定格消費電力 | 190 W |
| 定格容量 | 400 ml |
| 定格時間 | 1 分 |
| 電源コード長さ | 約 1.5 m |
| 寸　法 | 約 幅 11.5 ×奥行き 14 ×高さ 31.5 cm（収納時）<br>約 幅 11.5 ×奥行き 11.5 ×高さ 28 cm（使用時） |
| 質　量 | 約 0.8 kg |

- 仕様等は改善・改良の ため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
  (This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)


株式会社ドウシシャ

1B17A

# 安全上のご注意

**●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**
**●ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。**
**●お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。**

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。 |
| ⚠注意 | 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。<br>（物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。） |

**図記号の意味と例**

| | |
|---|---|
| | ⃠は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示しています。（左図の場合は、「分解禁止」を示します。） |
| | ●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。（左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。） |

## ⚠警告

| | | | |
|---|---|---|---|
| 禁止 | **交流100V以外では使用しない。**<br>火災・感電の原因になります。 | 指示 | **電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。**<br>感電・ショート・発火の原因になります。 |
| | **電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。**<br>電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 | | **電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。**<br>ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。 |
| | **電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。**<br>感電・ショート・発火の原因になります。 | プラグを抜く | **使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。**<br>絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。 |
| | **子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。**<br>けがややけど、感電の原因になります。 | | **お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。**<br>感電・火災・けがの原因になることがあります。 |
| | **本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。**<br>感電や異常運転してけがの原因になります。 | 分解禁止 | **分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。**<br>火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室（裏表紙をご参照ください）にご相談ください。 |
| | **ボトルの中に指や箸、スプーンなど調理食材以外のものを入れない。**<br>けがや故障の原因になることがあります。 | ぬれ手禁止 | **ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。**<br>感電の原因になります。 |
| | **業務用として使用しない。調理以外に使用しない。**<br>本製品は家庭用・調理用として設計・製造されています。業務用としての使用、調理以外の使用は、絶対しないでください。 | 水ぬれ禁止 | **本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。**<br>ショート・感電の原因になります。 |
| 使用禁止 | **異常時（こげ臭い、発煙など）は電源プラグを抜き、使用しない。**<br>火災・感電の原因になります。 | | |
| | **使用温度範囲外（0°C以下、40°C以上）では使用せず、使用温度範囲内でも1分間以上の連続使用をしない。**<br>故障の原因になります。 | | |

# ⚠注意

| | | | |
|---|---|---|---|
| 指示 | **運転は部品を正しく取り付けてから行なう。**<br>水漏れや故障の原因になることがあります。 | 禁止 | **カッターが付いた台座を本体の上に置かない。**<br>けがや故障の原因になることがあります。 |
| | **電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。**<br>感電やショートの原因になることがあります。 | | **カッターに直接手を触れない。**<br>けがの原因になることがあります。 |
| | **調理する量、水分、食材に十分注意して運転する。**<br>・容量が最大(400ml)超、または全体の1/4より少ない<br>・水分が少ない・粘り気の多い食材のみ・固い食材のみなど、故障の原因になることがあります。 | | **運転中に移動しない。**<br>けがや故障の原因になることがあります。 |
| 禁止 | **40°C以上の熱い食材をボトルに入れない。**<br>ふきこぼれによるやけどやボトルの割れ・変形によってけがの原因になることがあります。 | | **操作ボタンを物を使って押したりしない。**<br>けがや故障の原因になることがあります。 |
| | **食材が多すぎたり、その他の原因で回転が止まったときは、そのままの状態で使わない。**<br>けがや故障の原因になることがあります。 | | **カッターや回転部を露出させた状態で運転しない。**<br>けがの原因になることがあります。 |
| | **空回ししない。極端に少ない食材で使用しない。**<br>けがや故障の原因になることがあります。 | | **運転中にボトルの取りはずしはしない。**<br>けがや故障の原因になることがあります。 |
| | **本体の底面にある通気口をふさがない。**<br>故障の原因になることがあります。 | | **お手入れするときは、食器用洗浄機、食器用乾燥機を使用しない。**<br>熱により変形したり故障の原因になることがあります。 |
| | **不安定な場所では使わない。**<br>けがや故障の原因になることがあります。 | | |

# 各部の名称とはたらき

**ボトルふた取付部分**
収納時などここにボトルふたを取り付けておくことができます。

**ボトル**
食材を入れ、台座を取り付けて使用します。
台座をはずし、ボトルふたを取り付けて、持ち出すことができます。

**カッター**

**台座**

**本体**

**操作ボタン**
操作ボタンを押している間のみ、カッターは運転をします。
※連続で運転させるのは最大で1分以内にしてください。
連続で1分程度運転させたあとは、1分以上運転をしないでください。

## 底面

**脚部**
**（操作ボタン側）**

**通気口**
内部のモーターを冷やすため、ふさがないようにしてください。

**（操作ボタンの裏側）**

**電源コード**

**電源プラグ**

| ⚠警告 | 電源コードを束ねたまま使用しない。 |
|---|---|

## 付属品

**取っ手**
**飲み口ふた**
**ボトルふた**

**飲み口**
**飲み口ふたパッキン**

## 梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 本体 | 1 個 | ボトルふた（パッキン装着済） | 1 個 |
| ボトル | 1 個 | 取扱説明書（保証書含む） | 1 個 |
| 台座（パッキン装着済） | 1 個 | | |

※お買い上げの際、製品の箱に入っていた包装部材は、使用後、製品を収納するときに必要ですので捨てないでください。

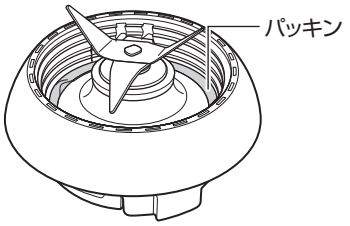
# 正しい使いかた

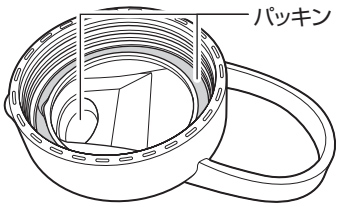
## 使用前の準備

### 1. 本体を正しく設置する

- 安定した水平な台の上に設置してください。
- 購入後初めて使用するときは、本体以外の部分をよく洗って十分乾燥させてから使用してください。

### 2. 台座・ボトルふたのパッキンが正しく取り付けられているか確認する



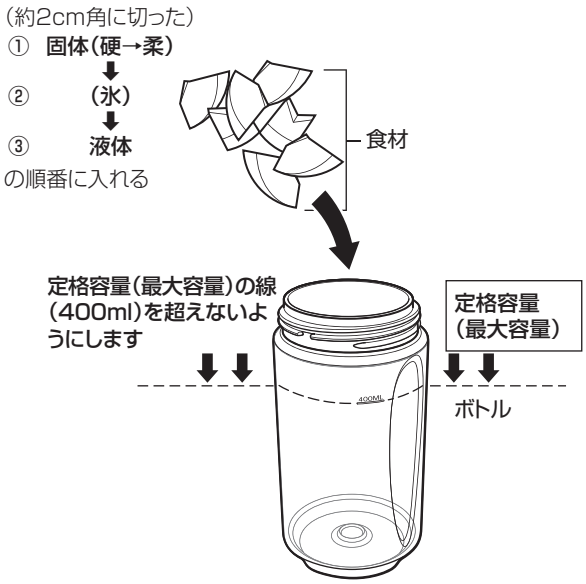




## 運転を開始／停止する

### 1. ボトルに食材を入れる

固体のかたいものから順に入れ、最後に液体を入れてください。

- ボトルに刻印されている、定格容量（最大容量）の線（400ml）以上は入れないでください。
- ボトルは耐熱性が高くないため、40℃以上の食材は入れないでください。
- 食材が少なすぎても正常に運転しません。食材はボトルのおよそ1/4（約100ml）以上、入れるようにしてください。
- 固体の食材は2cm角くらいに切ってから、入れてください。
- 氷を入れるときは液体を入れる前に入れます。




| | |
|---|---|
| ⚠注意 | **• 食材を定格容量（最大容量）の線以上入れない。**<br>**• 食材を1/4（約100ml）以上入れる。**<br>**• 40℃以上の食材を入れない。**<br>**• 食材には、水や牛乳などの水分を必ず加える。**<br>**• 粘りが出る食材（小麦粉など）は使用しない。**<br>本体に大きな負担をかけ、故障の原因となります。<br>**• 飲み物を作る目的以外に使用しない。**<br>**• 食材以外のものを入れない。** |

### 2. ボトルに台座を取り付ける

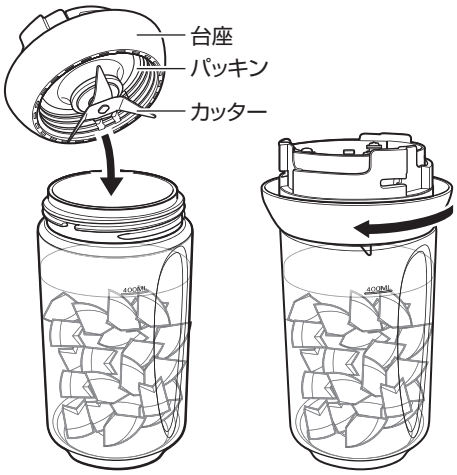
台座を矢印の方向に止まるまでしっかり締め付けます。

しっかり取り付けないと、漏れたりする原因になります。

※台座はゆっくり逆さまにしてください。急に逆さまにするとパッキンがはずれる原因になります。

| | |
|---|---|
| ⚠注意 | **• 台座を取り付けるときは、必ずパッキンの浮きやねじれやはずれがないことを確認する。**<br>**• 台座は矢印の方向に止まるまでしっかり締め付ける。**<br>食材が漏れる原因になります。 |

| | |
|---|---|
| ⚠注意 | **カッターに直接手を触れない。**<br>けがの原因になります。 |



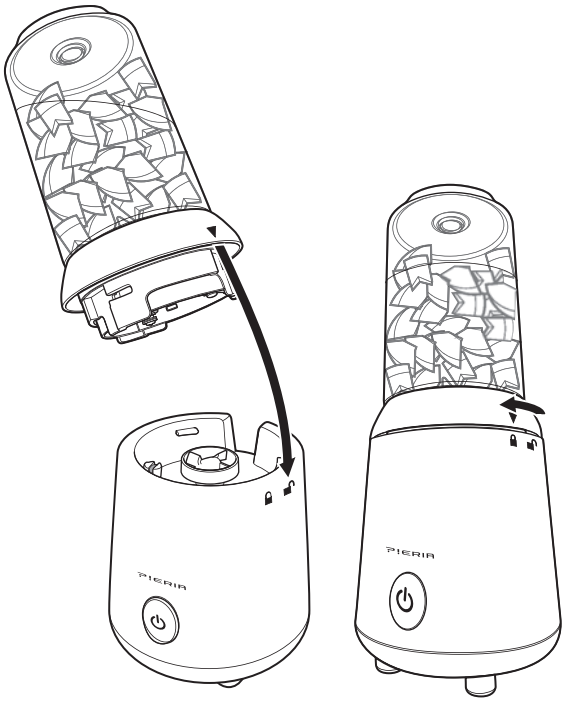



▶▶つぎのページにつづく▶▶

# 正しい使いかた（つづき）

## 3. （台座が下になるように）上下回転させて、台座の▼マークと本体の🔓マークを合わせて本体にのせ、（ボトル+台座を）矢印の方向に回してロックする

- 矢印の方向に回して台座の▼マークと本体の🔒マークを合わせるようにします。




台座の▼マークと本体の🔓マークを合わせるように取り付けます

台座を矢印の方向に回して台座の▼マークと本体の🔒マークを合わせるようにします

## 4. 電源プラグをコンセントに差し込む

## 5. 運転を開始／停止する

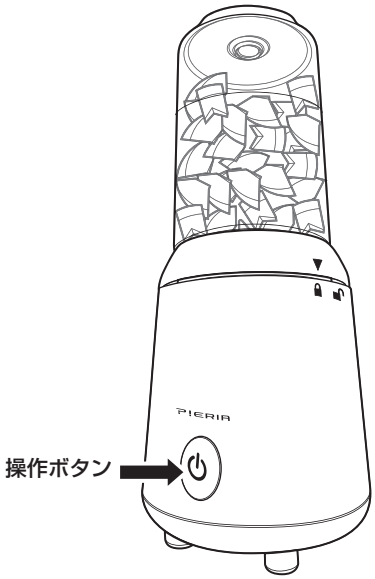
操作ボタンを押して運転させます。

- 操作ボタンを押していると運転を続けます。
- 操作ボタンを離すと運転を停止します。

※（ボトル+台座）を矢印の方向に回してロックをしていないと、運転しません（➡手順3）。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | **• 1 分間以上の連続運転をしない。**<br>**• 1 分間連続運転を行なったあとは、必ず 1 分間以上運転をしない。**<br>**• 異常音がしたり振動が大きいとき、回転が止まりそうなとき、または回転しないときは運転を停止する。**<br>台座を取りはずし、食材を減らしてください。 |

| | |
|---|---|
| ⚠注意 | **食材が細かくならないときは運転を停止する。**<br>本体から台座を取りはずし、上下に振ってから再度取り付け運転を再開してください。 |




## 6. （ボトル+台座）を回してロックをはずし、本体から取りはずす

（ボトル+台座）は、調理が終わったら本体に取りつけたままにせず、すみやかに本体から取りはずしてください。

- 台座の▼マークと本体の🔓マークを合わせると取りはずすことができます。

| | |
|---|---|
| ⚠注意 | **（ボトル+台座）を本体から取りはずすときは、回しすぎないようにする。**<br>（ボトル+台座）を本体から取りはずすとき、取りはずせる位置からさらに回してしまうと、ボトルと台座がゆるんで、内容物が漏れてしまうおそれがあります。 |

## 7. 上下逆さまに（ボトルを下に・台座を上に）しておく

## 8. 電源プラグをコンセントから抜く

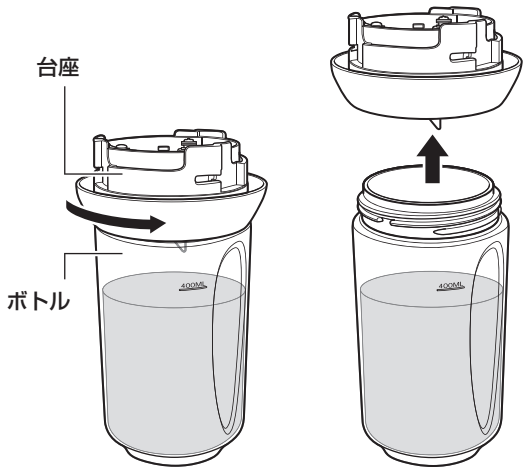
| | |
|---|---|
| ⚠警告 | **使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。**<br>絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因になります。 |

# ボトルふたを使う

## 1. 台座をボトルから取りはずす

- 食材や温度などによっては、調理したものが噴き出してくることがありますので、取りはずす場所を選んでください。
- 台座を取り付けたままにしておかないでください。カッターなどに悪影響を与えます。

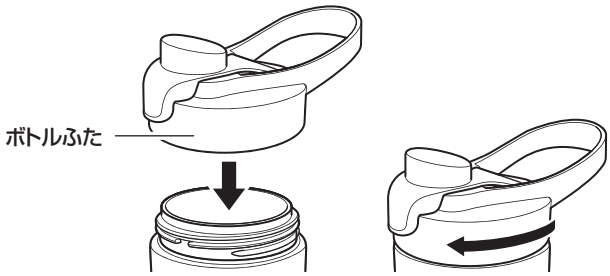
| | |
|---|---|
| ⚠注意 | • **台座のカッターは鋭利なため、取り扱いに十分注意する。**<br>• **取りはずした台座は容易に触れる場所に置かない。カッターを下に向けて置かない。**<br>けがやキズ付きの原因になります。 |



台座を矢印の方向に回して、ボトルから取りはずします。

## 2. ボトルにボトルふたを矢印の方向に回して取り付ける

| | |
|---|---|
| ⚠注意 | **ボトルふたを取り付けるときは、必ずパッキンの浮きやねじれやはずれがないことを確認する。**<br>飲み口ふた部分にもパッキンがあります。 |



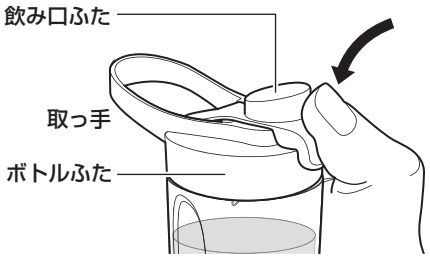

## 3. ボトルふたについている飲み口ふたを押し込んで、密着していることを確認する

飲み口ふたの上を、パチンと音がするまで指で押し込んでください。

※調理物を漏れにくくするため、音が確認できないときは、飲み口ふたを一度はずして再度押し込んでください。

- 飲み口のふたは、しっかりしめて密着させてください。中途半端ですと、漏れることがあります。
- ボトルふたは、密閉度が低いため、一時的な持ち出し以外、長時間の保存には向きません。

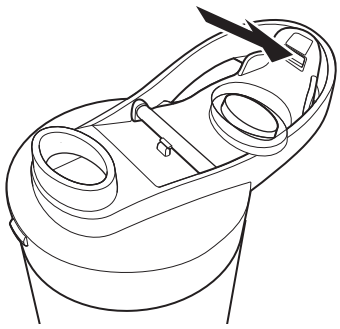
| | |
|---|---|
| ⚠注意 | **できるだけ短時間で使用を終えるようにする。**<br>食材によって時間がたつと気をつけなければならないものもありますので、早めに使用を終えるようにしてください。 |




## 4. ボトルから飲む

飲み口ふたの下側を指で持ち上げるようにしてはずします。

飲み口ふたの上部分を、取っ手側に押し付けて固定させてからお飲みください。



# 調理例

| ⚠注意 | • **粘りが出る食材（小麦粉など）は使用しない。**<br>本体に大きな負担をかけ、故障の原因となります。<br>• **飲み物を作る目的以外に使用しない。** |
|---|---|

《参考》2cm 角・原寸大

## バナナジュース

**作りかた**

（1）① バナナは皮をむき、2cm 角の大きさに切ります。

（2）① バナナから ② 角氷、③ 牛乳の順にボトルに入れ、約 30 ～ 40 秒運転します。（必要に応じて水（または牛乳）を加えてください。）

**材　料**

① バナナ ..... 1 本（約 100g）
② 角氷（約 2cm 角）..... 2 ～ 3 個
③ 牛乳 ..... 125ml

## にんじんジュース

**作りかた**

（1）① にんじんと ② りんごは皮をむき、2cm 角の大きさに切ります。

（2）① にんじんから ② りんご、③ はちみつ、④ 角氷、⑤ 水（または牛乳）の順にボトルに入れ、約 50 ～ 60 秒運転します。（必要に応じて水（または牛乳）を加えてください。）

**材　料**

① にんじん..... 1/2 本（約 60g）
② りんご ..... 1/4 個（約 60g）
③ はちみつ..... 適量
④ 角氷（約 2cm 角）..... 2 ～ 3 個
⑤ 水（または牛乳）..... 150ml

## スムージー

**作りかた**

（1）① ブルーベリーから ② はちみつ、③ ヨーグルト、④ 角氷、⑤ 牛乳の順にボトルに入れ、約 30 ～ 40 秒運転します。（必要に応じて水（または牛乳）を加えてください。）

**材　料**

① ブルーベリー..... 50g
② はちみつ..... 小さじ 1 ～ 2 杯
③ ヨーグルト.....25g
④ 角氷（約 2cm 角）..... 5 個
⑤ 牛乳 ..... 50ml

### ●フルーツジュースを作るコツ

牛乳、生クリーム、カッテージチーズ、ヨーグルトなどの身近にある乳製品を加えると、レパートリーが広がります。（苦みがあるときはレモン果汁を加えてみてください。）
また、甘みが足りないときは、砂糖などに比べてカロリーの低いオリゴ糖や、ミネラル分を多く含んでいる黒砂糖や蜂蜜を加えてみましょう

### ●冷たいジュースを作るコツ

冷たいジュースを作るときは、食材に角氷（約 2cm）を 1 人前につき 1 ～ 2 個加えてください。

### ●野菜ジュースを作るコツ

野菜には、特有の苦みや土臭さがあります。気になるときは、皮をむいたり、少量の蜂蜜を加えると飲みやすくなります。
また、りんごやオレンジ、レモン果汁を加えても、飲みやすくなります。

### ●水分の少ない素材でジュースを作るコツ

水分の少ない素材でジュースを作るときは、水や牛乳を加えて調整してください。

※ 大きな氷や市販の氷（ロックアイス）は使用しないでください。故障やカッターの破損の原因になります。

# お手入れと保存

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | **お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。**<br>感電やけがの原因になります |

## お願い

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- 本体は水をかけて洗わないでください。（感電・故障の原因になります。）

## 本体

| | |
|---|---|
| ⚠注意 | **本体上の黒いゴム部分にとがった物などで、触れない。**<br>安全装置の防水パッキンなので、破損の原因になります。 |

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤（柑橘系を除く）に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。（樹脂部分は強くこすらないでください。傷つく原因となることがあります。）

- 本体内部を冷やすために運転中は本体底面から空気を出すので、お皿に入れた粉状の食材などは本体周辺に置かないようにしてください。

## 本体以外

本体以外はすべて水洗いすることができます。
台座・ボトルふたのパッキンを取りはずし、ボトルを含めて食器用中性洗剤（柑橘系を除く）を入れたぬるま湯に浸し、時間をおいてからスポンジやブラシなどで洗ってください。すべて十分にすすいで、よく乾燥させます。

- ボトルふたの飲み口ふた部分にもパッキンがあります。

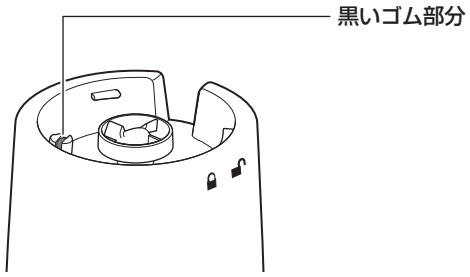
### パッキンの取りはずしかた

台座・ボトルふた、および飲み口ふたのパッキンは取りはずすことができます。お手入れのときには取りはずしてください。

**パッキンの横から串（とがっている側）などを使ってパッキンを浮かせ、カッターに注意しながら慎重に取りはずします①**

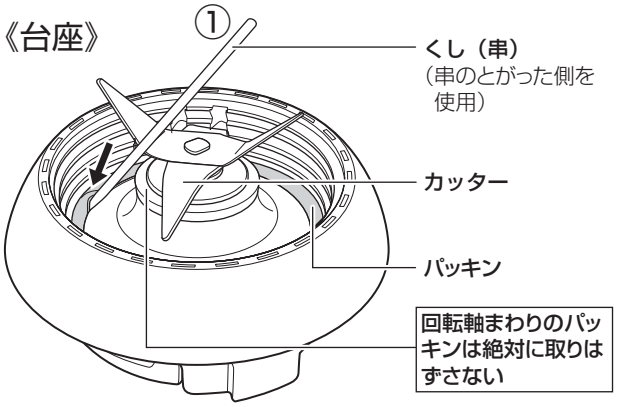
※ パッキンを傷つけてしまうため、千枚通しやクリップなどの金属は使用しないでください。

| | |
|---|---|
| ⚠注意 | **回転軸まわりのパッキンは絶対に取りはずさない。**<br>元の状態に戻すことができません。 |



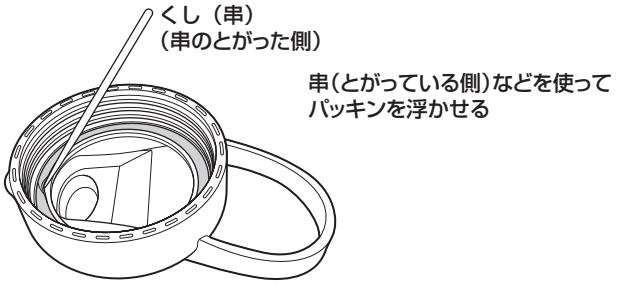

| | |
|---|---|
| ⚠注意 | **カッターに直接手を触れない。**<br>けがの原因になります。 |

《台座》




くし（串）のとがっている側などを使ってパッキンを浮かせる

《ボトルふた》






▶▶つぎのページにつづく▶▶

# お手入れと保存（つづき）

## パッキンの取り付けかた

取りはずしたパッキンは、正しく取り付けないと、水漏れの原因になります。以下の手順で正しく取り付けてください。

1. **台座のパッキンの溝に合わせて、パッキンをのせます**
2. **パッキンがねじれないように全体を押し込んでいきます②**
   ボトルふたも同様に、パッキンの全体を押し込んでいきます。
3. **最後にパッキンが浮いている箇所がないようにパッキンに沿ってなぞり③、きちんとはめます**

※ パッキンの一部がねじられて溝に入っていると、水漏れの原因になります。

| ⚠注意 | • **台座の下部が濡れた状態で使用開始しない。**<br>十分乾燥させてから使用開始してください。特に本体と接する部分が濡れていると、発煙・発火・故障の原因となります。<br>• **パッキンの取り付け、取りはずしのときは、カッターに十分注意する。** |
|---|---|

## 台座

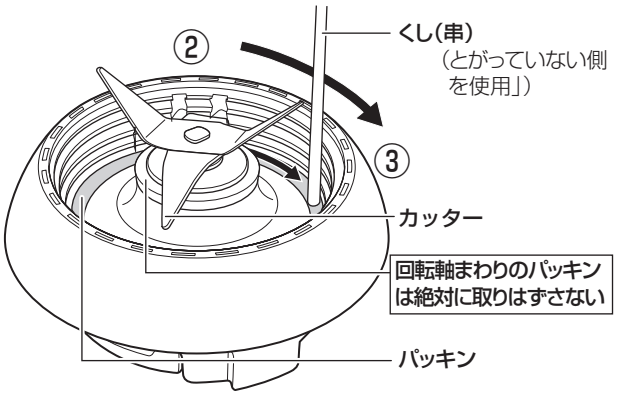
パッキンをはずし、手や指などをけがしないように柄の長いブラシやたわしなどを使い、カッターに直接触れないようにして汚れを落としてください。台座の回転軸まわりのパッキンは絶対に取りはずさないでください。

| ⚠注意 | • **台座を分解しない。**<br>• **カッターに直接触れない。**<br>• **回転軸まわりのパッキンは絶対に取りはずさない。**<br>元の状態に戻すことができません。 |
|---|---|

## 保存のしかた

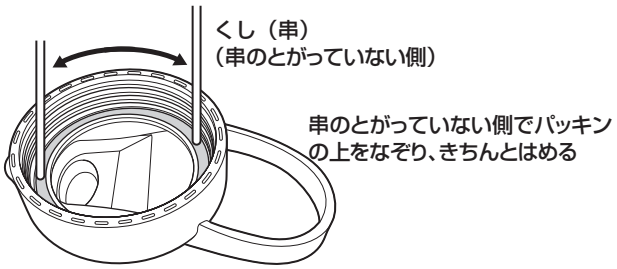
- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- 取りはずしたパッキンを元通りに取り付けてください。
- ボトルふたは、右図のようにボトルの上にはめ込んでおくことができます。
- ポリ袋などをかぶせ、お買い上げの商品が入っていた箱に入れて、湿気のない場所に保存してください。

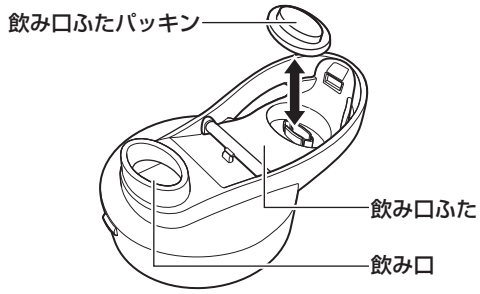
| ⚠注意 | **カッターに直接手を触れない。**<br>けがの原因になります。 |
|---|---|

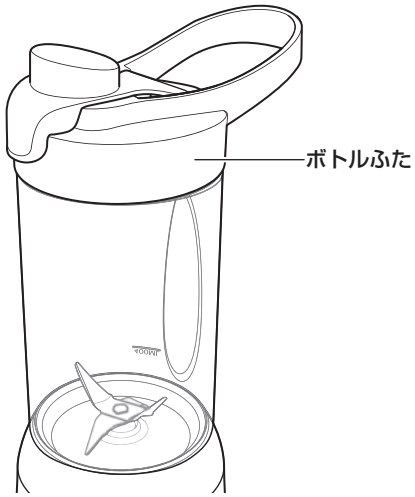



串のとがっていない側でパッキンの上をなぞり、きちんとはめる

《ボトルふた》



# 修理・サービスを依頼する前に

| ⚠警告 | **修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。** |
|---|---|

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

| 症状 | 主な原因 | 処置 |
|---|---|---|
| **操作ボタンを押してもカッターが回転しない** | • 電源プラグが抜けている | 電源プラグをしっかり差し込む |
| | • 食材が多すぎる | 食材を取り出して適切な量にする |
| | • 食材が大きすぎる | 食材を取り出して適切な大きさにする |
| | •（ボトル+台座）を（本体に対して）回してロックしていない | 台座の▼マークと本体の🔒マークを合わせるようにする（6 ページ参照） |
| | • 直前に数分間連続使用をしていた（安全装置が働いて運転を止めています） | 30 分以上使用しない（1 分間以上連続運転をしない） |
| **使用中運転が止まる振動が大きい** | • 食材が大きすぎる | 食材を小さくする |
| | • 食材が多すぎる | 食材を少なくする |
| **ボトルと台座の間から漏れる** | • ボトルと台座が正しく取り付けられていない | 一度取りはずして、正しく取り付け、確実に止まるまで締め付ける |
| | • パッキンが正しく入っていない | パッキンを正しく入れる |
| **ボトルとボトルふたの間や飲み口ふた部分から漏れる** | • ボトルとボトルふたが正しく取り付けられていない | 一度取りはずして、正しく取り付け、確実に止まるまで締め付ける |
| | • パッキンが正しく入っていない | パッキンを正しく入れる |
| | • 調理してから時間がたった（調理物によっては、時間がたつと発酵してガスが発生し、飲み口ふたをあけてしまうものがあります） | 早めに飲むなどして早めに使用を終える（7 ページ参照） |
| **カッターがから回りする** | • 食材の種類や組み合わせ、比率によってボトル壁面に付いたり、分離してしまうことがあります | 本体からはずして、上下左右に振るなどしてカッター周りに食材を落とす・混ぜる |
| | • 食材が少なすぎる | 食材を増やす（ボトルの 1/4 程度は食材を入れてください） |

## 長年ご使用のミキサーはよく点検を

### このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐにコンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。